



平成 19 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 パシフィックシステム株式会社
代表者名 代表取締役社長 末武 信一
(JASDAQ・コード番号・3847)
問合せ先 取締役経営企画室長 小澤 文男
(TEL. 03-5847-4700)

平成 20 年 3 月期 中間業績予想の修正に関するお知らせ

平成20年3月期中間期(平成19年4月1日～平成19年9月30日)の業績予想について、平成19年5月21日付当社「平成19年3月期決算短信」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

なお、平成20年3月期の通期予想につきましては、子会社となった株式会社システムベースの業績予想も含め現在確認中であり、中間決算発表時にお知らせいたします。

1. 平成 20 年 3 月期 中間期連結業績予想の修正 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想 (A)	3,578	82	53	31
今回修正 (B)	3,615	114	92	22
増減額 (B-A)	36	32	38	△8
増 減 率	1.0%	39.6%	71.7%	△26.6%
(参考) 前中間期実績	3,571	134	132	75

2. 平成 20 年 3 月期 中間期個別業績予想の修正 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想 (A)	2,901	34	44	25
今回修正 (B)	2,897	19	32	4
増減額 (B-A)	△3	△14	△12	△21
増 減 率	△0.1%	△42.0%	△28.3%	△84.5%
(参考) 前中間期実績	3,049	77	87	50

3. 修正理由

(1) 中間連結業績

売上高につきましては、ソフトウェア受託開発が低調であったことやシステム販売の減少(株式会社マキ製作所の倒産による影響)があったものの、機器等販売での売上げ増とシステム販売(特に、生コンクリート関連システム)の売上げが伸びた結果、前年同期比44百万円(同1.2%)増の36億15百万円と当初予想比36百万円の増加となる見込みであります。

営業利益につきましては、ソフトウェア開発における不採算案件の発生等があったものの、生コンクリート関連システムにおける粗利益の確保や販売費及び一般管理費の削減に努め、1億14百万円と当初予想比32百万円の増加となる見込みであります。

経常利益につきましては、営業利益が増加したことにより、92百万円と当初予想比38百万円の増加となる見込みであります。

中間純利益につきましては、株式会社マキ製作所の倒産による売掛債権等(32百万円)を特別損失に計上したことにより、22百万円と当初予想比8百万円の減少となる見込みであります。

(2) 中間個別業績

売上高につきましては、ソフトウェア受託開発の受注遅延あるいは減少やシステム販売(株式会社マキ製作所の倒産による影響)の減少に対して、機器等販売とシステム販売(画像処理システム等)の売上げ増でカバーしきれず、前年同期比1億52百万円(同5.0%)減の28億97百万円と当初予想比3百万円の減少となる見込みであります。

営業利益につきましては、売上げの減少に加え、ソフトウェア開発における不採算案件の発生等があり、19百万円と当初予想比14百万円の減少となる見込みであります。

経常利益につきましては、営業利益が減少したことにより、32百万円と当初予想比12百万円の減少となる見込みであります。

中間純利益につきましては、株式会社マキ製作所の倒産による売掛債権等(27百万円)を特別損失に計上したことにより、4百万円と当初予想比21百万円の減少となる見込みであります。

(注) 上記予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上